



# Executive Interview

エグゼクティブ  
インタビュー

no.6

このコーナーは神奈川トヨタのお客様である経営者の方にお話を伺うコーナーです。

株式会社 ジオックス 代表取締役社長

## 岡本 浩明 様

株式会社 ジオックスは1969年に相模原市東林間に東林バーベキューとして創業。2009年に介護事業へも進出。幅広い事業で、子どもからお年寄りまで地元の人々に愛され45年。それぞれの事業に対する思いと展望をお伺いしました。

### ■ バーベキューからデイサービスへ

——創業は東林バーベキューからなのですね。東林バーベキューを始めたきっかけを教えてください。

両親が岡山出身で、お店自体は昭和44年に両親が創業しました。その前は川崎の方で新聞販売業をやっていました。当初父は隠居仕事くらいの気持ちでバーベキュー屋さんを始めて、そのあとを僕が継ぎ今に至っております。

——ずいぶん畑違いな業種に変えましたね。父は律義な性格で、同じ仕事をして



しまうと前のところに申し訳ないだろうという思いがあって、辞めるのなら全然違う業種をしようということでも飲食業を始めたようです。

最初は今のようないびき形式ではなくて、林の中でバーベキューをするスタイルでした。お客様にはバンガローで鶏肉を中心に召し上がっていただくのですが、その鶏肉は、生鶏の解体からしておりました。時代の流れとともに今のスタイルに落ち着きました。

——社名のジオックスとは？

ジオ(GEO)は地球上、エックス(X)は無限という意味があります。

——介護業界に進出されたきっかけを教えてください。

2000年初頭、秋口から暮れの時期に狂牛病の問題が発生し、暮れの予約がぐーっと減ってしまったのです。周りの焼肉店の多くが店を閉めたりしました。

うちはなんとか持ち直したのですが、その時、一つの業態だったら、なにか一つ問題が起きるとそれでまづいことになってしまうなと感じまして、そこで何かもう一つ柱になることがないかなと考え、私たちにできそうで社会貢献もできるような事をいろいろ考え、介護の道へと進みました。

——どのような施設から始められたのですか？

民家型の小規模の10名までの施設です。普通の家を借りて10人でお泊りもできる、というようなデイサービスの施設です。

岡山の叔母が認知症になりかけていて、地元でデイサービスに通っていました。お見舞いに行った時、施設はとても綺麗でした。しかし、とても無機質で、なんか居心地が悪そうだなと感じました。数か月おきにお見舞いに行くと、元々にこやかだった叔母が、だんだんしかめっ面になって



# 無限の可能性を胸に、 家族と地域に幸せを

暗い表情へ変わっていききました。そういう姿を目にして、お年寄りにとっては、規模の大きい施設より、小さい施設でこじんまりやった方がいいのではないかなと思いました。そこで、介護の話が起こったとき、民家型で普通の家にいるような感じでやろうと思いました。

今では機能訓練型といって、要支援の方中心の予防介護も2店舗やっています。一つはマッサージを中心とした機能訓練。もう一つは音楽療法。こちらは私どものオリジナルです。もともとピアノの先生だったスタッフが音楽療法士の資格を取り、各デイサービスの施設をまわり、とても評判が良かったのです。評判だけでなく、機能回復の結果が出て、手をたたいたり、声が出なかった人が音楽にあわせて発声したり、音楽の力ってすごいなと強く感じました。それで音楽療法に特化した施設を作ろうと気持ちが固まり「Bravo」を作りました。すでにデイサービスを5店舗運営していたこともあり、ケアマネージャーさんを通して広がり、とても好評です。

## ■利用者やスタッフの日々を 楽しく幸せに

### —介護の仕事をするうえで気をつけていることは？

まずは安全ですね。事故があっちゃいけない。また、介護は医療ではないので、楽しんでいただくというのが一番です。「今日は一日楽しかった、また来るね。」と言っただけのデイサービスを心がけています。ですからスタッフもどうやってお客様を楽しませようかと考えてくれて、生き生き働いてくれていると思います。

### —スタッフに対して心がけていることは？

うちの会社の理念は「家族の幸せ」です。自分のいちばん小さなコミュニティが家族であり、家族が幸せであれば自分は幸せですからね。デイサービスを利用されている方とその家族も、業者さんもスタッフも、経営者である私も。ジオックスという会社に関わった人たちみんなが一つの家族として幸せになってほしいなということです。たとえば宅配の人に対しても、つつけんどんな態度をとって「面倒臭いな…」じゃなくて、「ありがとう、ご苦労さま！」と言えるようなハートを持った人たち。気持ちのいい配達ができた、この会社なんかいいなあと思わせるような。



## 株式会社 ジオックス

〒252-0302

TEL:042-733-0009 FAX:042-733-2120

URL:www.geo-x.jp

### 民家型デイサービス

(相模大野旭町・町田森野・大和深見台・中央林間・相武台)

### GENKI NEXT 相模原淵野辺

相模原市中央区相生1-11-9 TEL:042-815-0600

### 音楽デイサービス Bravo

相模原市南区松ヶ枝町15-15 TEL:042-810-6111

### ジオックス 訪問マッサージ院

東京都町田市森野3-10-25 TEL:042-810-5045

### 東林バーベキュー

相模原市南区上鶴間4-27-30 TEL:042-743-2518

ジオックスに関わった全ての人が幸せを感じられるように、スタッフたちが幸せになってもらえるようにと日々考えています。

## ■子どもからお年寄りまで、 地域に必要とされる存在に

### —今後の目標を教えてください。

東林バーベキューに関しては、子どもから中高生、老人会まで幅広くご利用いただいて、地域になくってはならない店でありたいと思います。

介護事業に関しては、今はデイサービスだけですが、バーベキューから始まった事業でのネットワークを通じて、層を重ねていく。例えば、訪問看護や訪問介護だったり、地域の中で、ジオックスに任せておけば大丈夫だねと言われるような会社にしていきたいと思っています。

今は介護をしています、これから先、全く違うことをやっているかもしれません。介護にこだわらず、地域のために役立つことやっていきたいと思っています。現在は変化していかないとだめですね。どれだけ変化できるかだと思います。今は時代の流れが速い。それについていくのは大変だけどそれについていかないと淘汰されてしまうのかな。

そのためにジオックス、無限の可能性でいろんなことに挑戦しようということです。

### <インタビューを終えて>

創業当時、東林間は林が多く残り、幼い頃は虫の声や風の音に恐ろしささえ感じたとのこと。街の成長と共に店は街に育ててもらったと話され、深い地元愛を感じました。趣味のサッカーの話がされるときのやんちゃな笑顔も素敵でした。地域のためのアイデアは無量大、新たな挑戦が楽しみです。